



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 1 月 30 日

上場会社名 京王電鉄株式会社

（コード番号：9008 東証第 1 部）

（URL <http://www.keio.co.jp>）

代表者 取締役社長 加藤 勇

問合せ先責任者 総合企画本部 経理部経理担当課長 伊沢 衛 （TEL(042)337-3135）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・中間連結財務諸表の作成基準をベースとしつつ、税金等調整前四半期純利益に実効税率を乗じた税金費用を法人税等として計上するなど、一部簡便的な手続きを採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

・連結（新規）1社（除外）-社 ・持分法（新規）-社（除外）-社

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	329,068	1.4	34,549	17.4	32,447	26.1	18,879	17.8
17 年 3 月期第 3 四半期	324,484	0.8	29,422	4.0	25,729	5.2	16,031	6.6
(参考)17 年 3 月期	433,071	1.3	37,096	2.4	31,723	1.9	18,764	22.5

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	30.43	
17 年 3 月期第 3 四半期	25.64	
(参考)17 年 3 月期	29.91	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率または対前期増減率であります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	614,915	233,088	37.9	375.72
17 年 3 月期第 3 四半期	571,965	197,170	34.5	317.76
(参考)17 年 3 月期	571,311	199,997	35.0	322.19

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18 年 3 月期第 3 四半期	40,251	23,078	3,864	34,506
17 年 3 月期第 3 四半期	32,092	34,730	2,176	21,118
(参考)17 年 3 月期	45,524	45,950	4,314	21,192

[参考]平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	436,700	35,700	19,200

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 30円80銭

当第 3 四半期の業績結果を踏まえ、平成 17 年 10 月 25 日に公表しました通期の業績予想を見直しております。セグメントごとの業績予想については、7 ページの「(5) 通期の見通し」に記載しております。

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期は、すべてのセグメントで増収増益となり、営業収益は3,290億6千8百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は345億4千9百万円(前年同期比17.4%増)、経常利益についても324億4千7百万円(前年同期比26.1%増)となりました。四半期純利益は188億7千9百万円(前年同期比17.8%増)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

運輸業のうち鉄道事業の輸送人員は、沿線人口の増などにより、前年同期比1.3%増(うち、定期1.3%増、定期外1.3%増)となり、旅客運輸収入が1.4%増となったほか、バス事業でも路線・高速ともに増収となったことなどにより、営業収益は966億6千5百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は、鉄道事業の退職給付費用が減少したことなどにより、192億8千8百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

流通業は、「阪神タイガース優勝記念セール」を実施した百貨店業をはじめ、ストア業、書籍販売業が増収となったことなどにより、営業収益は1,442億6千1百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は47億4千万円(前年同期比41.1%増)となりました。

不動産業は、不動産販売業で減収となりましたが、不動産賃貸業の新規物件の通期稼働が増収増益に寄与し、営業収益は193億6千2百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は68億5千3百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

レジャー・サービス業は、旅行業で減収となりましたが、「京王プラザホテル(新宿)」が堅調であったことなどにより、営業収益は657億1千3百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は、31億4千4百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

その他は、季節的変動要因がありますが、ビル清掃・管理業で増収となったほか、「高尾の森わくわくピレッジ」の開業などにより、営業収益は286億5百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は9億4千2百万円(前年同期比30.3%増)となりました。

なお、第三者による構造計算書の偽造に起因する耐震構造上の問題が判明した宿泊特化型ホテル「京王プレッソイン」の3店舗(茅場町、五反田、池袋)の営業を休止し、平成17年12月8日開催の当社重要財産委員会において建物の解体を決議した2店舗(茅場町、五反田)について、減損損失を特別損失に計上しております。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

前年同期との比較を中心とした概況は以下のとおりであります。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が増加したほか、法人税等の支払額が減少したことなどにより、81億5千9百万円増加し、402億5千1百万円となりました。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期に「京王吉祥寺駅ビル」の取得があったことなどにより、116億5千2百万円減少し、230億7千8百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、上記物件取得のため、前年同期にコマーシャル・ペーパーの発行がありましたが、自己株式の取得による支出が減少したことなどから、16億8千8百万円の減少にとどまり、38億6千4百万円の資金流出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、345億6百万円となりました。有利子負債の当第3四半期末残高は、2,133億2千5百万円となりました。

添付資料

(1) 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円，百万円未満切捨て表示)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成17年12月31日)		前連結会計年度末 (平成17年3月31日)		増 減	前第3四半期末 (平成16年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%			%
流 動 資 産	100,167	16.3	82,994	14.5	17,173	92,002	16.1
現金及び預金	34,537		22,239		12,297	22,164	
受取手形及び売掛金	26,276		26,239		36	26,498	
たな卸資産	30,767		28,157		2,609	34,117	
その他	8,586		6,357		2,228	9,221	
固 定 資 産	514,747	83.7	488,316	85.5	26,430	479,962	83.9
有形固定資産	407,033	66.2	406,637	71.2	395	399,273	69.8
土地	111,221		105,386		5,834	105,203	
建設仮勘定	21,553		19,859		1,693	14,401	
その他	274,259		281,391		7,132	279,668	
無形固定資産	2,852	0.5	3,318	0.6	465	3,366	0.6
投資その他の資産	104,861	17.0	78,360	13.7	26,500	77,322	13.5
投資有価証券	88,615		57,904		30,710	57,479	
その他	16,246		20,456		4,210	19,843	
資 産 合 計	614,915	100.0	571,311	100.0	43,604	571,965	100.0
(負 債 の 部)		%		%			%
流 動 負 債	141,312	23.0	140,862	24.7	449	154,862	27.1
支払手形及び買掛金	21,053		23,095		2,041	20,301	
短期借入金	50,031		50,410		378	56,165	
その他	70,226		67,355		2,870	78,395	
固 定 負 債	235,235	38.2	223,413	39.1	11,822	212,307	37.1
社 債	60,000		60,000			50,000	
長期借入金	97,241		96,452		788	92,452	
退職給付引当金	26,371		28,395		2,023	31,332	
その他	51,623		38,565		13,057	38,522	
特別法上の準備金	5,278	0.9	7,038	1.2	1,759	7,625	1.3
特定都市鉄道整備準備金	5,278		7,038		1,759	7,625	
負 債 合 計	381,826	62.1	371,314	65.0	10,512	374,794	65.5
(資 本 の 部)							
資 本 金	59,023	9.6	59,023	10.3		59,023	10.3
資本剰余金	42,016	6.9	42,016	7.4	0	42,016	7.4
利益剰余金	107,663	17.5	92,601	16.2	15,061	89,868	15.7
其他有価証券評価差額金	37,704	6.1	19,624	3.4	18,079	19,505	3.4
自己株式	13,319	2.2	13,269	2.3	50	13,244	2.3
資 本 合 計	233,088	37.9	199,997	35.0	33,091	197,170	34.5
負 債 及 び 資 本 合 計	614,915	100.0	571,311	100.0	43,604	571,965	100.0

(2) 四半期連結 (要約) 損益計算書

(単位 : 百万円 , 百万円未満切捨て表示)

期 別 科 目	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		前第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		増 減		前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
営 業 収 益	329,068	100.0	324,484	100.0	4,584	1.4	433,071	100.0
営 業 費	294,518	89.5	295,061	90.9	542	0.2	395,974	91.4
営 業 利 益	34,549	10.5	29,422	9.1	5,126	17.4	37,096	8.6
営 業 外 収 益	2,135	0.6	2,053	0.6	82	4.0	2,362	0.5
受取利息及び配当金	710		467		242		505	
雑 収 入	1,424		1,585		160		1,857	
営 業 外 費 用	4,237	1.3	5,746	1.8	1,508	26.3	7,735	1.8
支 払 利 息	3,701		3,781		79		4,984	
雑 支 出	536		1,965		1,429		2,751	
経 常 利 益	32,447	9.8	25,729	7.9	6,718	26.1	31,723	7.3
特 別 利 益	2,916	0.9	2,722	0.9	194	7.1	4,633	1.1
特 別 損 失	3,912	1.2	1,241	0.4	2,670	215.0	4,368	1.0
税 金 等 調 整 前 四半期 (当期) 純 利 益	31,451	9.5	27,209	8.4	4,242	15.6	31,988	7.4
法 人 税 等	12,572	3.8	11,177	3.5	1,394	12.5	13,224	3.1
四半期 (当期) 純 利 益	18,879	5.7	16,031	4.9	2,847	17.8	18,764	4.3

(注) 特別利益の主な内訳	当第3四半期	前第3四半期	増 減	前連結会計年度
特定都市鉄道整備準備金 取崩額	1,759	1,759		2,346
工事負担金等受入額	545	240	305	676
貸倒引当金戻入益	308		308	
投資有価証券売却益	149	530	381	858
特別損失の主な内訳				
減損損失	1,621		1,621	733
固定資産除却損	906	850	56	1,562
固定資産臨時償却	713		713	
固定資産圧縮損	545	240	305	1,137

(3) 四半期連結 (要約) キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 百万円 , 百万円未満切捨て表示)

科 目	当第 3 四半期 〔自 平成17年 4月 1日〕 〔至 平成17年12月31日〕	前第 3 四半期 〔自 平成16年 4月 1日〕 〔至 平成16年12月31日〕	前連結会計年度 〔自 平成16年4月 1日〕 〔至 平成17年3月31日〕
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	31,451	27,209	31,988
減 価 償 却 費	21,293	20,419	27,509
減 損 損 失	1,621		733
法人税等の支払額	11,944	16,950	16,879
そ の 他	2,170	1,414	2,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,251	32,092	45,524
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	26,240	36,772	48,319
そ の 他	3,162	2,041	2,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,078	34,730	45,950
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金・社債等の純増減額	409	6,810	5,055
自己株式の取得による支出	72	4,389	4,419
配当金の支払額	3,722	3,755	3,755
そ の 他	478	841	1,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,864	2,176	4,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	4	5
現金及び現金同等物の増減額	13,313	4,810	4,735
現金及び現金同等物の期首残高	21,192	25,928	25,928
現金及び現金同等物の四半期(期末)残高	34,506	21,118	21,192

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期 (自平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)

(単位：百万円，百万円未満切捨て表示)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他	計	消去 又は全社	連結
営業収益及び営業利益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	94,479	142,314	17,897	62,374	12,002	329,068		329,068
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	2,185	1,946	1,464	3,339	16,603	25,540	(25,540)	
計	96,665	144,261	19,362	65,713	28,605	354,608	(25,540)	329,068
営業費用	77,376	139,520	12,508	62,569	27,663	319,638	(25,119)	294,518
営業利益	19,288	4,740	6,853	3,144	942	34,970	(420)	34,549

前第3四半期 (自平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)

(単位：百万円，百万円未満切捨て表示)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他	計	消去 又は全社	連結
営業収益及び営業利益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	92,680	140,487	17,216	62,539	11,559	324,484		324,484
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	2,740	1,767	1,387	3,094	15,007	23,997	(23,997)	
計	95,421	142,254	18,603	65,634	26,566	348,481	(23,997)	324,484
営業費用	78,504	138,895	12,782	62,821	25,843	318,847	(23,786)	295,061
営業利益	16,916	3,359	5,821	2,813	723	29,634	(211)	29,422

前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

(単位：百万円，百万円未満切捨て表示)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他	計	消去 又は全社	連結
営業収益及び営業利益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	123,855	183,775	22,322	79,769	23,348	433,071		433,071
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	2,845	2,524	1,869	4,473	25,981	37,693	(37,693)	
計	126,700	186,299	24,192	84,242	49,330	470,764	(37,693)	433,071
営業費用	107,029	181,696	16,759	80,490	47,351	433,327	(37,352)	395,974
営業利益	19,671	4,603	7,432	3,752	1,978	37,437	(340)	37,096

(5) 通期の見通し

(単位：億円，億円未満切捨て表示)

	平成 18 年 3 月期 (予想)	平成 17 年 3 月期 (実績)	増減率	平成 18 年 3 月期 (予想) 【前回公表値】
連結営業収益	4,367	4,330	0.8	4,389
連結営業利益	393	370	6.1	375
連結経常利益	357	317	12.4	336
連結当期純利益	192	187	2.3	200

当第 3 四半期の業績結果を踏まえ、平成 17 年 10 月 25 日公表の通期の業績予想(前回公表値)を見直し、営業収益は 4,367 億円、営業利益は 393 億円、経常利益は 357 億円、当期純利益は 192 億円を見込んでおります。セグメント別の状況は以下のとおりであります。

セグメント別営業収益と営業利益(平成 18 年 3 月期予想)

(単位：億円，億円未満切捨て表示)

	営業収益		営業利益	
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率
運輸業	1,284	1.4	212	7.8
流通業	1,873	0.6	50	10.2
不動産業	241	0.3	83	11.8
レジャー・サービス業	849	0.8	32	13.9
その他	508	3.1	20	1.9
計	4,757	1.1	398	6.4
連結修正	389	-	4	-
連結	4,367	0.8	393	6.1

(6) 鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入

			当第 3 四半期 (自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 17 年 12 月 31 日)	前第 3 四半期 (自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 16 年 12 月 31 日)	増減率
輸送人員	定期	千人	268,111	264,622	1.3
	定期外	"	191,825	189,388	1.3
	計	"	459,936	454,010	1.3
旅客運輸収入	定期	百万円	24,679	24,347	1.4
	定期外	"	33,620	33,135	1.5
	計	"	58,300	57,483	1.4

「京王プレッソイン」3店舗(茅場町、五反田、池袋)の営業休止による業績への影響について

平成17年11月30日に、「京王プレッソイン」3店舗の営業休止と2店舗(茅場町、五反田)の建物の解体により発生する費用について、22億円となる見通しを公表いたしましたが、平成18年1月30日開催の当社取締役会において、「京王プレッソイン池袋」の建物の解体を決議いたしました。

通期の業績への影響は、「京王プレッソイン池袋」解体により発生する費用を含め、32億円となる見通しです。なお、これらの費用は7ページの「(5) 通期の見通し」に含まれております。